

第1回救急医学会共同参画推進特別委員会会議録

2020年1月24日

参加者；木田佳子先生、並木みずほ先生、並木淳先生、七戸康夫先生、伊藤香先生、山口順子先生、守谷俊先生、小澤昌子先生、番匠谷友紀先生、長谷敦子先生（web）、矢口有乃先生（担当理事）

1. 自己紹介

2. 前回議事録確認

3. アンケート

- ・ 初回アンケートから6年経過し、女性救急医も増えており、新たな情報を提供すべく実施する
- ・ QRコードでも返答できるようにしている
- ・ 前は1050件中385件の回答を得た
- ・ 今回1200件弱送っている（すでに300弱の回答あり）
- ・ リマインダーもおくってもらうようにする
- ・ 他学会のアンケートとは独立している点も追記する予定（松本さんに依頼）
- ・ アンケート結果を、どのような形で情報提供フィードバックするかは、今後の委員会で検討
- ・ アンケート内容について

複数の職場が重複している場合、Ⅲの内容を答えられないので、Ⅲの内容答えなくとも提出してもらうようにする方がよさそう→リマインダーに記載

Ⅳ-3の文言：入局→研修プログラム等が良さそう（次回アンケート時に活かす）

4. 検討事項

4-1. 本委員会；特別委員会ではなく常設にしては？→矢口先生通じて理事会に依頼

4-2. 第48回救急医学会での企画

- ・ ラウンジ継続して実施
ラウンジのミニ講演は好評なので、今年も続けていく
誰にお願いするか、また後日検討する

・ パネルの内容

① 一昨年に育ボス

育メン企画は？この場合聴衆対象は？ボスレベルに来てもらわないと
→指導医講習会対象にはする、育メン企画は来年以降に持ち越し

② アンケートに関連した内容が better では？

- ◇ Ⅳ-3の内容に絡めて、救急科入局を勧める、勧めない派のプロコン形式にして、現時点の問題点を抽出し、女性医師を増やすための改善点を明らかにするのは？
- ◇ 女性救急医に重きをおかれた結果、重労働を強いられる男性独身救急医の意見も聞く（男性救急医もメンバーに入れる；男性は公募が良い？）
- ◇ 他の科と比べてしまうと、どうしても救急医が不利になってしまうので、討論の内容には注意が必要
- ◇ 一部指定（一部公募；公募にした場合の抄録は？）が良い？
- ◇ 救急医学会ではプロコン討論は例がないのでOKか確認する
- ◇ 指導医講習会に指定してもらう
- ◇ プロコンにするよりは、勧められない理由をピックアップして、その改善点を追求する方向にしたほうが良いのでは。アンサーパッドを使用し会場の意見を反映させるのは？
- ◇ アンサーパッド使用する場合は座長の手腕が問われる

- アンサーパッドの使用ができるか、プロコンできるかを確認する
- これらの内容を踏まえ、木田先生が後日企画内容を練って頂けるとのこと
- 後日またメールで発信（2月末程度までに目処をつける）

4-3. メーリングリストの活用

コアメンバー募集！のメーリングリストの意味の再考が必要

活用方法

メールの内容

メーリングリストの位置付け

等を明らかにして、募集のページを更新しては

自施設紹介や悩み相談もしてもよいの？→内容に誰が責任を持つか？

地方会での男女共同参画企画のアナウンスなども行っても良さそう

→HP リニューアル小澤昌子先生にお願いさせていただく

学会 ML でのコアメンバーの募集については木田が文面を作成し松本さんに依頼する

5. その他

- ・ 他の学会との繋がりとは？
- ・ 内科、麻酔科との連携は過去にあり
- ・ 男女共同参画推進委員会の HP、バナーも見にくい（文字の羅列、デザイン）
- ・ 広報委員会におねがいしてみる？
- ・ Facebook も良いのでは？；更新が大変（管理人）
- ・ HP の内容；議事録、学術集会のアップデート、女性救急医のライフワークバランスのライド
- ・ アップデートできる部位を限定しないと見たいコンテンツがどんどん下になってしまうので注意する
- ・ HP で何を指すか
救急医学会にも本員会で、いろんな企画をやっていることを知ってもらう、興味をもってもらい、女性が働き続けるためのヒントを見つけてもらうための HP にしたい
学会でやった内容（委員会企画）を残していきたい
→木田先生が内容を吟味・検討して委員へ発信
- ・ 次回学会会場が複数に分かれている→メイン会場にラウンジが作れるように
- ・ 託児所はラウンジと同じにしてもらうよう希望している
- ・ パネルの会場と別になるのは止むなし
- ・ 女性評議員増加は急務であり、早期に実現できるように矢口担当理事にもお願いする。

次回会議；5月29日